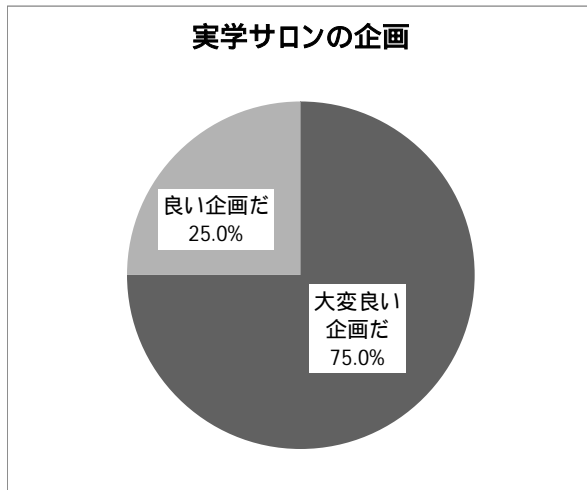


第21回 実学サロン 2016年12月9日(金)

「実学サロン」のアンケート結果を整理しましたので報告致します。  
出席者（講師を含めて）15名、回答数 12名（回答率：80.0%）

Q1：校友向けの実学サロンの企画について <総合評価：4.8点>  
大変良い企画だ（9名） 良い企画だ（3名） まあまあ（0名）  
やや企画として不満（0名） 改善すべき点が多い（0名）



コメント：

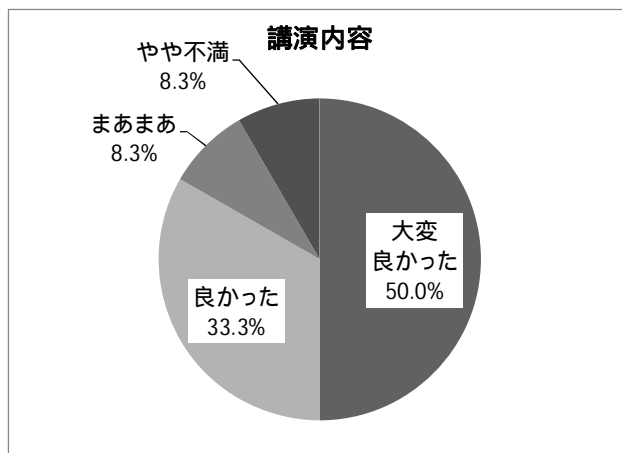
- (1) 他分野の勉強ができて良かった。
- (2) 原価と価格の違いの重要性に気付くことができました。
- (3) 普段気にしていない原価の考え方について分かった。

Q2：第21回実学サロン <総合評価 4.3点>

『技術者が学ぶ経済学、商学、経営学 - ものづくりの実学に原価の把握がある - 』  
の講演について

（講師：谷口守哉(株)原田伸銅所仙台副工場長 商学博士、政策研究博士、  
（平成10年二部機械工学科卒業、平成14年大学院工学研究科部修了、  
平成18年大学院工学マネジメント研究科修了）

大変良かった（6名） 良かった（4名） まあまあ（1名）  
やや不満（1名） 改善点が多い（0名）



コメント：

- ( 1 ) 少し早口で、英語が多いので、少々理解に苦しむ。
- ( 2 ) 相変わらず熱く、ためになりました。久々にドキドキする内容(自分の無知識が恥ずかしくなる)でした。
- ( 3 ) 英語の必要性、技術者も経済、経営(の知識)が必要だと実感した。

Q3：今後の実学サロンのテーマの希望または推薦したい講師

- ( 1 ) テーマ：IOT、AI といったトレンド
- ( 2 ) テーマ：企業における営業根性(宮村亮男：日立製作所(峯村高志))

Q4：実学サロンについて、自由な意見をお願いいたします。

コメント：

- ( 1 ) 今回のサロンは、今まで意識していなかった分野のものだったが、大変刺激を受けた。
- ( 2 ) 今後共、宜しくお願い致します。
- ( 3 ) 継続してください。
- ( 4 ) 参加者が少ない。集客につながる検討もしくは、開催の見直しが必要と思います。
- ( 5 ) 若い卒業生や学生も来れるといいと思う。

Q5：次回の実学サロンの案内をメールにて希望の方は、メールアドレスと氏名を、FAXの場合はFAX番号と氏名(所属を含む)などを記入ください。

案内を受け取った。 7名(回答者12名の58.3%)が記入した。

案内が欲しい：新規に0名。

その他、ご意見、ご感想(裏面)

- ( 1 ) 割引率、固定費、変動費の大切さが分かりました。

以上